



学校だより

梨の花



市川市立稲荷木小学校

HP QR コード



令和7年1月6日 第9号

「やさしく・かしこく・たくましく」

～子供が夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～



「新年を迎え、幸多かれ」

あけまして、おめでとうございます。

穏やかに、2025年が幕を開けました。皆様のご家庭ではご家族そろって元気に新年を迎えられ、思いも新たに一年の計を立てられたことと思います。子どもたちは、冬休みをそれぞれに、楽しく過ごしたことと思います。

今年の干支は、「へび（巳）」です。巳年について調べてみると、次のように書いてありました。

脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子がではじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われています。

特に2025年は、60年に一度巡ってくる「乙巳（きのと・み）」の年だということです。「乙巳（きのと・み）」は、六十干支の一つで、非常に珍しい組み合わせなのだそうで、乙は木を、巳は蛇を意味し、木が蛇を包み込むようなイメージから、成長や発展を象徴すると考えられているそうです。そして、チャンスの年とも言われています。稲荷木小の子供たちが、チャンスを得ながら新しいことにどんどんチャレンジし、さらに大きく成長し、発展していけることを願います。

さて、1月に行く。2月は逃げる。3月は去る・・・と言われるように、本当にあっという間に学年末を迎えることになります。3学期は、次の学年に向けて準備する学期です。新しい学年になって「さあ、今日から新学年だ。」と始めようとしてもいきなりすぐには心も行動も切り替わりません。準備の期間はやはり必要です。ですから、この3学期から少しずつ次の学年の準備をしていきます。

まず、今の学年でできるようになったことは何か、今の学年でやっておかなくてはいけないことは何かを自分で見つめ直すこと、できたこと（宝物）を増やして、その上で次の学年で目標とすることは何かをはっきりさせながら次の学年に向けて準備すること、それができれば、きっと次の学年になっても意欲的に進めていけるとと思います。

最後に、これまで同様、本校教育へのご支援、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

学校はいつでも教育相談を受け付けています。小さな心配でもご相談ください。

明日、スクールカウンセラーの浅野先生より「スクールカウンセラーだより」が発行されますので、ぜひ、お読みください。

〈1、2、3月の相談日〉

1月14日（火）、2月5日（水）、3月11日（火）



三学期学校経営方針

総まとめ・総仕上げ・高めあいの三学期に！

「まとめ」・・・この1年でできるようになったことは何か、伸びたことは何かを振り返り、成長した自分を見つける3学期といたします。どの子にも大きな成長があります。それぞれの成長を、自信につなげ、次のステップへ繋げていきます。

「高めあい」・・・自分だけでなく、友達や仲間と互いの良さや進歩を伝え合う3学期といたします。自分の良さや成長は意外と気づきにくいもの。だからこそ、伝え合いを通して高め合っていきます。

行事を
通して

学びを
通して

自信をつけて次の学年に！

「ありきたりなことこそしっかりほめる！」

ありきたりなことこそしっかりほめる！

→このことを大切にしたいと考えております。

そのためには、子供たちが何を思って行動し、どのような努力をしているかに、しっかり目をむけていかななくてはならない！

→特別なことでなく、日常の中に成長の芽がたくさんあります。

活動を
通して

遊びを
通して

体育委員会主催
稲荷木チャレンジ



自分で考え、
みんなで学び合う

6年生キャリア教育
教師体験



2年生国語科

おもちゃの説明書 作文メモ



